



みなさん、「ビブリオバトル」というバトルをご存知ですか？ 遅ればせながら、今年度図書委員会でもビブリオバトルを行うことになりました。そこで今号では、ビブリオバトルについて紹介していきたいと思います。

ビブリオバトルとは

「ビブリオバトル」とは、参加者が好きな本を紹介しあい、投票でチャンプ本を決めるという書評ゲームのことです。2007年、当時京都大学の院生だった谷口忠大さんという方が考案しました。現在では小・中学校、高校、図書館、書店、企業、芸能界など、様々な場所で開催されています。



昨年度行われた「第6回全国高等学校ビブリオバトル」では、全国47都道府県全てで予選が行われ、過去最高の約1,000人が参加しました。

模擬投票してみよう

現在図書委員会では、ビブリオバトルを体験してみよう！ということで、1月に行われた「第6回全国高等学校ビブリオバトル」決勝大会決勝進出者8人の中から3人の発表を観て、投票をしてみる、ということを行っています。



・・・視聴中・・・



・・・投票中・・・

図書委員以外の人で投票してみたい！という人は司書室で予約を取ってください。密を避けるため、1回につき3人までとします。

時間：お昼休み・放課後 夏休み

人数：3人まで

所要時間：30分ほど

夏休み終了日まで投票を受け付けたいと思います。発表は7月の図書館だよりを予定しています。

公式ルール

- ①参加者が、読んで面白いと思った本を持って集まる（4～8人くらいがちょうど良い）。
- ②1人5分ずつ、本について話す（原稿やレジュメなどは準備しない）。
- ③1人の発表が終わるごとに、参加者全員でのディスカッションを2～3分行う。
- ④参加者全員が、1人1票で「一番読みたくなった本」に投票し、チャンプ本を決める。



図書の返却

5月29日（金）までに借りた本は返却日が過ぎています。至急返却してください。